

妊娠と出生前検査

— 日米の女性の選択をめぐる —

最近、日本でもアメリカでも「新型出生前検査」が導入され、子どもをもちたいと願う女性やカップルに重い選択を迫っています。新型出生前検査では、妊婦の血液から胎児の情報が得られます。しかし、その結果によってはさらなる検査が必要になり、最終的に産むのか産まないのかの決断を迫られることにもなります。

第1部では、国立成育医療センターの左合治彦医師に新型出生前検査の実際についてお話しいただきます。そのあとに、わたしたち「妊娠研究会」が実施している「妊娠と出生前検査の経験についてのアンケート調査」の中間結果を報告します。第2部では、ニューヨーク大学文化人類学部のレイナ・ラップ教授に、アメリカでの新型出生前検査をめぐる社会的・文化的・経済的な課題・問題についてお話しいただきます。ご関心のあるみなさま、ぜひお越しください。

妊娠と出生前検査 — 日米の女性の選択をめぐる — 公開講演会

日時

2013年11月2日(土)

午後1時～午後5時

場所

文京区男女平等センター 研修室A

本郷3丁目駅(丸ノ内線、大江戸線)ほか

参加費

無料(定員120名、先着順)

保育あり(有料、要予約)

情報保障(ノートテイク等)(無料、要予約)

10月20日までにお申し込み下さい。※詳しくは裏面を。

12時30分 開場 13時 開始

13時～14時20分

左合治彦 国立成育医療研究センター副院長

「日本における出生前検査の現状」

柘植あづみ 明治学院大学教授・妊娠研究会代表

「妊娠と出生前検査の経験についての
アンケート調査から見えること」

質疑応答 休憩

14時30分～17時 通訳つき

レイナ・ラップ ニューヨーク大学文化人類学部教授

「DNAの将来に賭ける人々：
社会における新型出生前検査の意味を考える」

お申し込み方法

- イベント告知サイト「こくちーず」より登録して下さい。

<http://kokucheese.com/event/index/107065/>

- FAXでもお申し込みいただけます。FAX 03-5421-5359

お名前、ご連絡先電話・FAX番号を記載の上、10月31日までにお申し込みください。

携帯電話からの
申し込みは
右記QRコード
が便利です



レイナ・ラップさん



ニューヨーク大学
文化人類学部教授

文化人類学、医療人類学、STS (科学技術と社会)、医療・家族とジェンダー、リプロダクション(生殖)・健康と文化、障害学、1980年代からアメリカで女性学の確立にも尽力し、文化人類学においてもジェンダー、医療の領域を開拓。その貢献に対して2012年度にアメリカ文化人類学会より、学会功労賞を受賞。

Testing Women, Testing the Fetus:
The Social Impact of Amniocentesis in
America



Rayna Rapp著
Routledge, 1999年

胎児の障害や遺伝的な状態が医学検査でわかるようになり、検査を受けた妊婦とパートナーが胎児の重篤な障害や病気を指摘されたときにいかなる「選択」をするのかについて、インタビュー、参加観察から描いた労作。

左合治彦さん

国立成育医療研究センター
副院長・周産期センター長、産婦人科医



産婦人科医で、専門は周産期医学。特に胎児診断・胎児治療ならびに出生前診断などの臨床遺伝学。周産期専門医、臨床遺伝専門医、超音波専門医でもある。

柘植あづみ



明治学院大学 社会学部教授

専門は医療人類学。主著に『文化としての生殖技術—不妊治療に携わる医師の語り』松籟社1999年、『妊娠を考える—くからだ>をめぐるポリティクス』NTT出版2010年、『生殖技術—不妊治療と再生医療は社会に何をもたらすのか』みすず書房 2012年など。



『妊娠—あなたの妊娠と出生前検査の経験をおしえてください』

柘植あづみ・菅野摂子・石黒真里著
洛北出版, 2009年

2003年に文部科学省科学研究費の助成を受けて「妊娠と出生前検査の経験」について女性へアンケートおよびインタビュー調査を実施、2005年報告書を再編集して刊行。

ご案内

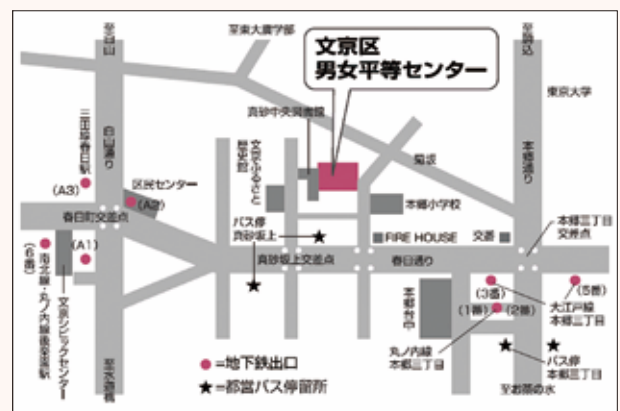
文京区男女平等センター 研修室A

〒113-0033 東京都文京区本郷4-8-3 本郷真砂アーバンハイツ1F
TEL 03-3814-6159 (ただし本講演会に関する問い合わせは主催者へ)

- 都営地下鉄大江戸線 本郷3丁目駅下車徒歩5分
- 東京メトロ丸の内線 本郷3丁目駅下車徒歩5分
- 都営バス 真砂坂上下車徒歩3分
- 都営地下鉄三田線 春日駅下車徒歩7分
- 東京メトロ南北線 後楽園駅下車徒歩10分

保育あり(先着6名、小学校低学年まで、お子様お一人1000円(保険料50円込み)をご負担下さい)。「こくちーず」またはFAXにて10月20日までにお申し込み下さい。

情報保障(ノートテイク等)は、10月20日までに「こくちーず」またはFAXにてご相談下さい。



この公開講演会は文部科学省科学研究費の助成を受けて開催しています。

文部科学省科学研究費・基盤研究B「医療技術の選択とジェンダー：妊娠と出生前検査の経験に関する調査」 研究課題番号：25283017

妊娠研究会メンバー

柘植あづみ(明治学院大学)、石黒真里(明治学院大学)、井原千琴(国立成育医療研究センター・お茶の水女子大学博士課程)、白井千晶(早稲田大学ほか)、菅野摂子(立教大学ほか)、田中慶子(公益財団法人家計経済研究所)、二階堂祐子(明治学院大学博士課程)、渡部麻衣子(日本学術振興会・東京大学大学院情報学環)